

【選手案内】

木曾三川トライアスロン大会

- ☆ 2014日本トライアスロン連合東海ブロック選手権
(2014日本トライアスロン選手権 選考会)
- ☆ 2014木曾三川トライアスロン大会(一般)
- ☆ 2014長良川アクアスロン大会



主催 木曾三川トライアスロン大会実行委員会
 主管 岐阜県トライアスロン連合
 後援 国営木曾三川公園管理センター;海津市;JTU東海ブロック連絡協議会

開催日:日程(予定)

平成26年6月8日(日)			
駐車場オープン	7:20	～	
受付	7:30	～	8:30
トランジションオープン (ブロック選手権)	7:40	～	8:40
(一般)	7:40	～	9:30
開会式:競技説明会	8:30	～	
ブロック選手権;入水チェック	8:55	～	
東海ブロック選手権スタート女子	9:10	～	
男子	9:15		
一般スイムアップ	10:00	～	
一般;入水チェック	10:10	～	
トライアスロン(一般)	10:25	～	ウェブスタート(予定)
アク:入水チェック、アップ	11:15	～	
アクアスロンA	11:30	～	
アクアスロンB	11:30	～	
表彰式(ブロック選手権)	11:40	～	表彰会場
表彰式	各競技入賞者確定後案内にて		

* 当日の気象条件、進行状況、等により変更されることがあります。
場内放送にてご案内いたします。ご注意ください。

競技場所

岐阜県海津市 国営木曾三川公園内 ”アクアフィールド トライアスロンコース”

競技内容

競技種目	総距離	スイム	バイク	ラン
東海ブロック選手権	51.5km	1.5km	40.0km	10.0km
トライアスロン(一般)				
アクアスロンA	11.0km	1.0km	—	10.0km
アクアスロンB	5.5km	0.5km	—	5km

* 気象条件、国営公園利用規則等その他の事由、大会実行委員会の判断により、大会の中止、縮小、競技種目や距離の変更がされる場合があります。
大会進行状況により、タイムスケジュールが変更される場合があります。
場内放送にてご案内いたします。一部施設内におきましても聞き取れない場所が有ります。

表彰予定

トライアスロン(一般)
 総合 男女各1位～3位 年代別 男女 1位
 東海ブロック選手権
 男女各1位～3位
 アクアスロンA、B
 男女各1位～3位
 入賞者には、表彰状と楯が授与されます。
 表彰式は、入賞者確定後、表彰式の準備が整い次第ご案内します。
 入賞者は、レース後場内放送にご注意ください。

競技規則 本大会競技規則は日本トライアスロン連合（JTU）競技規則を適用いたします。
一部ローカルルールを適用します。
大会競技ルールの確認、最終判断の説明は、競技説明会にて行います。選手は必ず出席ください。

東海ブロック選手権 特記事項(特記事項以外は、一般と同じ。)

ウェア JTU競技規則の規定を適用。
バイク 同性間のドラフティングは許可、周回遅れは、DNFとする。
予想される選手に対して、モータ審判員他より宣告されるが、例外もある。DNFとなった選手は、コース外に退避。
降車し、逆走することなく、競技選手に影響を与えないように、棄権の手順を行ってください。
1周5kmのコースを8周回します。周回数をカウントダウン方式にて表示します。周回位置より相当の距離前方。
ホイールストップを南折り返し付近に設置。
8:00～8:30の間に、ホイールストップ場所にて受付ください。(スタッフに申込願います)
ペナルティ バイク項目、並走、追抜き禁止区間は、追抜き禁止、ブレーキポジション区間とする
乗車ラインを越え足が着地している状態から乗車。降車ラインの手前で足が着地しバイクから降りている。
JTU規則及びペナルティボックスによる。
ランスタート付近にペナルティボックスを設置します。
レースNo.、時間を表示します。スタッフにNo.を告げペナルティを受けてください。(悪質者は、失格)

競技規則(一般:アクアスロン) 選手権一部適用

※注意 前空き前ファスナー付きウェア、上下セパレートのウェアの着用には規定が設けられています。
開けている場合は、閉めて頂くよう、声をかけさせていただきます。ご了承ください。
(着用選手におきましては周知の為、複数回となりますが、声をかけさせていただきます。)
JTU競技規則 <http://www.jtu.or.jp/news/2013/130125-1.html>
会場は、気候により予想以上の変動があります。暑さ寒さの対策を十分に。

注意事項

一般:アクアスロン(一部除く)

施設利用

当日、車は必ず指定の駐車場にとめてください。閉門は17時。鎖にて施錠します。
治水タワー南の信号交差点より河川敷に降り、上流1.5km付近選手駐車場
他の駐車場を利用されますと大会に支障があります。また、大会選手用の駐車場でない場合は、夜まで出れません。コースの下見はできますが、公園内は一般開放されています。
サービスセンター3階を選手、同伴者の控室とします。休憩はこちらで行ってください。
荷物は3階以外の場所に置かないようお願いいたします。荷物、貴重品は自己管理です。
男女別更衣室、コインロッカー、(100円リターン方式)シャワールームがサービスセンター3階に設置されており、人数分には不足しますが、譲り合いご利用ください。
監視員等は配置いたしません。不要に大きな場所取りや、荷物の紛失等ご注意ください。
大会時以外の遊泳は禁止です。
国営公園内を使用しておりますので、一般の利用者もおります。周囲にご注意ください。
陸上コースは舗装されておりますが、荒れているところもあり、砂利やが浮いていたり窪み等あり、注意が必要です。
競技中以外でもバイク乗車時はヘルメット着用ストラップをきちんと締めてください。
コース内を応援者、一般者が横断、通行する場合があります。接触に注意ください。
常に前方に注意し、不測の事態に備えてください。
バイクを会場に配達される方は、実行委員会までご連絡ください。

体調管理

大会前には、医師の健康診断を受け、完走するのに余裕のある体力を有することをご確認ください。レースは、長時間かつ過大な運動量を必要とされます。
大会前日の飲酒、夜更かしは控え、食事、水分を十分に摂りゆっくり休んでください。
大会当日は、適度な朝食をとり水分補給、捕食の準備をお願いします。
河川敷特有の天候になる場合があります。異常な暑さ、寒さ、風雨等に対応できる準備をお願いします。

受付

受付は、大会本部、(テニスコート内;青色の屋根)にお越しください。(駐車場より北へ徒歩)
受付時にレースNo.、氏名を申告ください。受付場所はレースNo.で区分されています。
事前に受付付近に掲示しますので、ご自分のNo.を確認の上お並びください。

用具の検査

配布物

事前検査は行わない、各自にて十分に点検、整備、検査されたものを使用ください。

マーキング

レースNo.(大1、小1枚)、記念品、スイムキャップ、ご自分のNo.か必ず確認ください。
ボディナンバリングは、受付の混雑を防ぐため、事前に各自で行ってください。当日、受付場所でも行えます。
太字油性マジックにて、数字縦書き、腕、下肢の2か所。(なるべく、スイムウェアに隠れない場所を推奨。)

レースNo.(大)

胸の位置に安全ピン又はベルトにて取り付け。腰より著しく下がらず、見苦しく無い位置。

レースNo.(小)

ベルト使用時は、バイク時=背面、ラン時=前面。前面を優先します。

記録

バイクフレーム右側。(はがれますと、ピックアップ時に、所有者確認ができませんしっかりと貼ってください。)

計測は、電子計測、計測バンド(計測チップ、計測タグ)を、スイムスタート15分前より、スイムスタート付近にてお渡しします、レースNo.を確認し、どちらかの足首にしっかりと取り付けてください。(マジックテープ+ゴムバンド)途中で落としたり、違うものをつけていると正確な記録が測定できなく完走されても”棄権”となります。ご注意ください。
記録計測器具の紛失、未返却者には実費請求させていただきます。
レーススタート前、レース中は常に、取り付け状態を確認してください。
各競技のタイムは、計測地点でのタイムの為、実際とは多少異なります。ご了承ください。

リタイア **体調の急変等、通常と違う状況が発生した時は、すぐにレースを止めスタッフや選手に連絡ください。**
大会会場は広範囲に及び、主催者側だけでの安全管理では予測のできない状況もあります。
自身の体調は自身で管理し、参加者同士のセルフレスキューも必要です。
調子の悪い選手には一声かけ、出場選手全員が事故なく終えられるよう協力ください。
又、様子のおかしい選手を見かけました場合は、お近くのスタッフまでご連絡ください。
リタイアする場合は、必ず計測バンドを大会本部に直接、返却ください。
リタイアする場合でもコースの内外ともに逆走は禁止です、コース外の芝生内を走行ください。
(周回コースの場合は、本部に戻るのが逆走となる場合は、反対側に横断してください。)
大会運営上や著しい選手の不調等による、ドクターや審判員の判断により、棄権とする場合があります。
棄権後も、レースNo.ゼッケンは必要です。破棄、紛失しないでください。

緊急時の心得

スィム 競技を停止し、頭上にて大きく手を振る。大きな声で要請する。
バイク:ラン 近くのスタッフや、選手に声をかける。バイク自走困難な場合は、状況を見て、搬送車を用意します。
救護 体調の急変時にはスタッフや周囲の選手に連絡ください。
医療スタッフは、本部テントに配置され、必要に応じて対応できるよう待機しています。
会場には救護車両が用意されています。セルフレスキューが困難な場合等、
周囲のスタッフまたは選手に依頼ください。
重大な事故に関しましては救急搬送いたします。健康保険証の写しや、確実な緊急連絡先が必要です。
緊急車両、大会車両通行の際は、左側に一列となり徐行又は停止してください。
緊急時は選手間の追い抜き禁止。

コース 周回数、コースミスは自己責任です。競技説明会には必ず出席ください。
周回数の審査に関しては、周回計測、タイム、前後の競技者、内容、
スタッフの意見、バイクにおいては距離計、等より総合的に判断します。
スタッフが周回数を教えることはありません。周回が足りない場合は棄権となります。
コースの一部は、選手間の交差、一般者の横断など接触の危険のある箇所がいくつかあります。
コースは一人での閉鎖的空間ではありません。前方や路面状況に注意して安全に走行してください。
特に、スィムの上り口のコンクリート坂路、バイクのカーブ、合流、サンドコート横の
舗装面上に吹き上がった砂、ランコース、バイクコースにおける一般者のコース横断など
十分注意し不測の事態に備えてください。
コース設定が河川敷のため、特性上みずはげが悪く水たまりができる箇所も何か所かあります。
競技中は、ミュージックプレイヤー等、イヤホン、ヘッドセット等の使用は非常に危険です。使用禁止。
スィム ウェットスーツ着用(推奨)となる場合があります。

スィム 1周500mのコースを3周します。コースロープが設置されています。
水上よりスタートし、下流へ。折り返し再び、コンクリートロープを上り
コースへ入ります。(足からゆっくり入ってください、浅い部分もあります。)
岸側には、コンクリート護岸があります。コースロープに近寄らない。
スィムに自信のない方は事前にスタッフに申し出てください。
コースロープ等に伝い進行するのは禁止です。
救助の場合は片手を頭上で大きく振り、大きな声で救助を求めてください。
競技中、アップの時間ともに、飛び込みは禁止です。水深の浅い箇所があります。
スィムスキップ希望者は、スタッフに申し出てください。コースの状況により、バイクスタートおこないます。
係員の指示に従ってください。順位は、棄権DNFとなります。

バイク 大会側での車検は行いませんが、必ず、大会前にJTU規定、その他の規定に適合していることを確認し、
整備、点検した後に参加ください。
会場内でバイクに乗車中は、ヘルメット(検査適合)着用、ストラップを締めてください。
1周10kmのコースを4周します。先導、審判にモーターバイクが入ります。
一般のカテゴリーは選手間のドラフティング禁止です。左側通行。追い抜きは一声かけて。
バイクボトルに、ペットボトル装着は脱落等及び、操作が危険の為、禁止といたします。
トランジション内は乗車禁止。片足ペダル走行も禁止。
トランジションエリアには選手以外入れません、また、クローズ後は選手も入れません。
バイクに触る前にヘルメットのストラップを締める。離してからストラップをはずす。
乗車ラインにバイクの前輪が越えてから乗る
降車ラインにバイクの前輪がかかる前に降りる。片足ペダルも禁止。違反者はペナルティ処分。
バイクでの事故が多く発生しており、選手や観客が大げがとなるのを予防するため、
徐行且つ追い抜き、並走共に禁止の区間を設けます。

禁止区間① 合流、分岐、折り返し、曲線区間とその手前100m、通過後30m。

スタート、フィニッシュの選手と、周回する選手との間で、接触事故が発生しています。
バイク周回コースの南折り返し地点に於いては、

禁止区間② 判定塔から南折り返し地点通過後30m地点まで。

特にフィニッシュの選手は接触に注意し、追い抜き、並走しないよう、注意してください。
周回の選手は、コース内の左側通行を、バイクフィニッシュの選手はコース内の右側通行を厳守願います。
スタート地点に於いては、周回コース上の選手を優先とします。

周回遅れでバイクコースに入る選手は、誘導員の指示及び
前方を自分で確認し、優先権のある選手にコースを譲ってください。
観客等がコースを横断されたり、すぐ横で見られている場合大変危険です。特に本部付近では、
前方を確認し、注意してください。これらの区間ではブレーキをすぐに掛けられる状態で走行ください。
バイクにはサイクルメータ取り付けを推奨します。

ラックにかける際、No.シールが貼ってあるほうがハンドル側になるよう、サドル掛けとします。

荷物はハンドル側に。乗車、降車のときはバイクのハンドル側を走り、
降車時は、バイク、荷物はセットした時と同じように整頓して設置してください。

トランジションエリア内は競技中以外でも、乗車、ペダル片足走行も禁止。

選手以外は入場禁止(家族等も禁止)です

会場内ではバイクに乗り移動する際は必ずヘルメットをしっかりとかぶり、ストラップ締めてください。

荷物はレースに必要な物を最小限にまとめ【50cm立方体程度以下を推奨】使用するもの以外は禁止。

ハンドル側に置いてください。他の選手やレースに支障をきたす場合は、
注意、係員にて移動いたします。ご了承ください。カバン、袋、着てきた服等自分の荷物も禁止。

トランジションにおきまして、バイクや荷物の移動、設置方法の変更をお願いする場合があります。(ルールや運営上不具合の場合)場内放送にて連絡いたしますが、係員にて、荷物やバイク設置等の移動を行う場合もありますので、ご了承ください。会場内、トランジション内での荷物の紛失が他会場で発生しています。貴重品の管理には注意してください。バイクピックアップは係員の指示に従ってください。場内放送にて案内いたします。ピックアップの際は必ずご本人がレースNoを持って(付けて)引き取りに来てください。レースNo、バイクシールの紛失した方は、身分証明書が、必要となる場合があります。事前に、ご準備願います。悪質な盗難、取り違いの事故が各地で発生しております。ご了解願います。本来は、全競技者がフィニッシュ後にバイクの引き取りが始まりますが、遠方からのご来場者もおられるため、競技本部の配慮にて、レースの途中での引き取りを行います。ピックアップの際、まだレース中の選手がいます。コースを開け、ご声援をお願いします。選手が通行する際は、ホイッスルにて、呼びかけますので、その場で停止願います。

ピックアップの開始時間の後、残っているものについては係員が移動させる場合があります。ご了承ください。また、必ず選手本人がレースNoを持って引取りしてください。

- ラン 1周2.5kmのコースを4周します。
左側通行。追い抜きは一声かけて。
エイドにて給水を受ける場合は、減速して。受け取る意志表示をお願いします。
ごみは散乱しないようご協力ください。
- フィニッシュ フィニッシュは、レースナンバー、身なりを整え、サングラスは外して。
総合FINISHは専用コースとなります。
同伴FINISHは、他の選手に配慮願います。許可を含め、スタッフの指示に従ってください。
多人数での同伴は控えてください。
- ペナルティ フィニッシュ後もレースNo.づけけんは必要です。破棄、紛失しないでください。
競技規則、大会規則に違反、及び危険が予測される場合は
スタッフより声かけ、注意、警告があります。安全にレースが行えるよう指示に従ってください。

大会主催者加入保険のご案内

万一の事故に備え、大会側にて保険に加入しておりますが、損害の全部を補償できるものではありません。また、保険会社の審査により、減額や対象外となる場合もあります。状況により、各個人にても、別に加入されることをご提案いたします。

加入保険：死亡 500万円、入院見舞金(日額)5千円、通院見舞金(日額)2500円

お帰り レース後は体力や、疲労の蓄積があると思われます。お帰りの際は、交通事故等十分にご注意願います、休憩は早めに、細かく取るようご配慮願います。

最後に いろいろな規則や規制が設定されていますが、参加者が気持ちよく安全にレースができるように考えております。不備な点も多々あるかと思われませんが、参加者全員が、公平に、安全に安心して楽しくレースができますようスタッフ一同願っております。

コンディションにご注意願い、お越しいただきますよう、お待ちしております。無理な参加、交通事故等には、くれぐれも注意願います。

事務局

〒503-0627

岐阜県海津市海津町七右衛門新田1731

木曾三川トライアスロン大会実行委員会

会長 若山 春夫

TEL 0584-54-7447

FAX 0584-54-5506

<http://gifu-triathlon.jp/>

e-mail info@gifu-triathlon.jp

(参考:無いものもあり:)レースナンバーカード(表)



ヘルメット貼り付け位置

バイクラックでのレースNo表示

バイク貼り付け位置: 右か左